

中学校第3学年

国語

注意

- 1 先生の合図があるまで、冊子を開かないでください。
- 2 調査問題は、1ページから21ページまであります。
問題用紙の空いている場所は、下書きや計算などに使用してもかまいません。
- 3 解答は、全て「国語」の解答用紙に記入してください。
- 4 解答は、HB以上の濃さの黒鉛筆（シャープペンシルも可、ボールペンは不可）を使い、濃く、はつきりと書いてください。
- 5 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 6 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 7 解答用紙の解答欄は、裏にもあります。
- 8 調査時間は、50分間です。
- 9 問題用紙の最後に、この調査問題について質問があります。解答時間終了後、先生の指示で回答してください。

調査問題は、次のページから始まります。

1 第一中学校では、毎年、美術の時間につくった作品を展示する美術展を行っています。今年は、昨年の美術展に来場した小学生の感想をもとに、内容を工夫して開催します。実行委員の中井さんは、地域の小学校6年生に向けて、来場を促すためのちらしを作成することになりました。次は、中井さんが参考にした【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】と、文書作成ソフトを用いて作成している【ちらし】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】

第一

第一中学校

ホーム	学校紹介	行事予定	学校生活	保護者の方へ
-----	------	------	------	--------

行事のご案内

更新日 令和7年10月3日

美術展の開催のお知らせ

秋の恒例となった「第一中学校 美術展」を開催いたします。各学年の生徒たちは、美術展に向けて作品づくりに励んでおります。ご多忙とは存じますが、生徒たちの力作をご覧いただければ幸いです。ご来校をお待ちしております。

◆開催日時

令和7年11月15日（土） 10時～16時

◆開催場所

第一中学校 体育館

【ちらし】

第一中学校 美術展



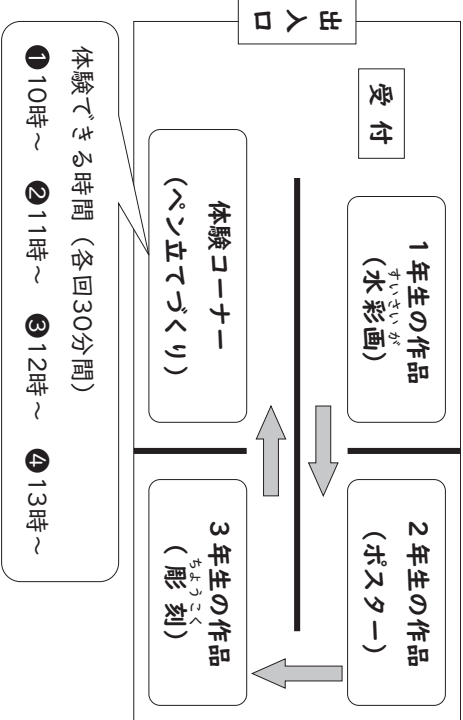
毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。
私たちが美術の時間につくった作品を展示します。どれもかいしんの出来です。

今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。
体験コーナーでは、中学生と一いっしょ緒に、好きな色のタイルを貼はって自分だけのペン立てをつくることができます。

日 時 令和7年11月15日（土） 10時～16時

場 所 第一中学校 体育館

会場図



一 中井さんは、【ちらし】の——線部「かいしん」を漢字に変換しようとしています。漢字に変換したものとして最も適切なものを、次の1から3までのの中から1つ選びなさい。

- 1 会心
- 2 改心
- 3 改新

二 中井さんは、【ちらし】に、【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】には示されていない「会場図」を加えました。どのような目的で加えたと考えられますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 小学校6年生に向けたちらしであることを示すため。
- 2 ウェブページの情報と比較しやすくするため。
- 3 会場となる体育館まで迷わずに来ってもらうため。
- 4 展示する作品と体験コーナーの内容や配置を伝えるため。

【ちらし】（更新版①）

第一中学校 美術展



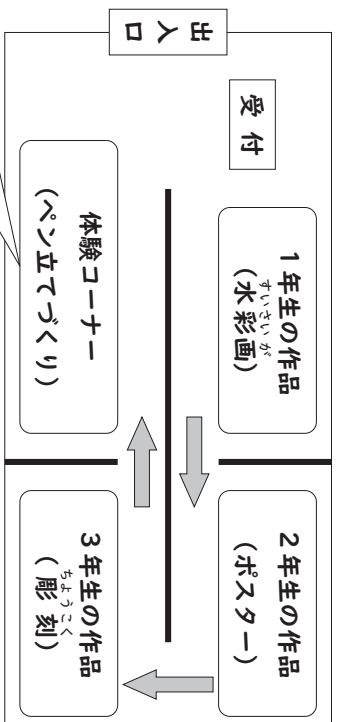
毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。
私たちが美術の時間につくった作品を展示します。どれかいいしんの出
来です。

今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。
~~体験コーナーでは、中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だ
けのペン立てをつくることができます。~~

日 時 令和7年11月15日（土） 10時～16時

場 所 第一中学校 体育館

会場図



体験できる時間（各回30分間）

- ① 10時～ ② 11時～ ③ 12時～ ④ 13時～
中学生といっしょに、好きな色のタイルを貼って自分だけのペン立てを
つくるができます。

三 中井さんは、【ちらし】（更新版①）のように、——線の部
分を削除して□□の中に書き加えました。その意図を
説明したものととして最も適切なものを、次の1から4まで
の中から1つ選びなさい。

- 1 具体例を示したあとに要点を示すことで、中心となる
情報に対する読み手の理解を深めようとした。
- 2 伝えるべき事柄に見出しを付けることで、読み手に速
やかに情報を伝えようとした。
- 3 情報を示す位置を整理することで、関連する情報を読
み手がまとめて得られるようにした。
- 4 時間の流れに沿って情報を示すことで、読み手が必要
とする情報を見付けやすくした。

□1の調査問題は、次のページに続きます。

【ちらし】（更新版②）

第一中学校 美術展



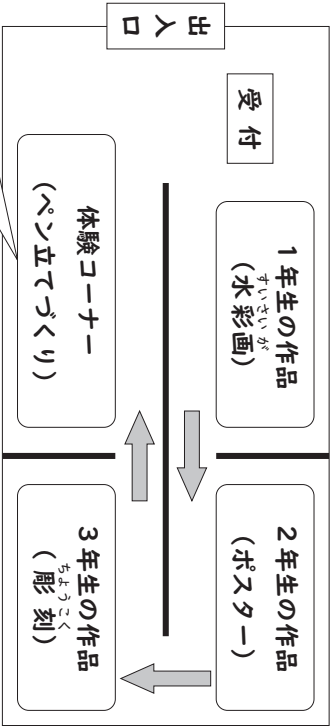
毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。
私たちが美術の時間につくった作品を展示します。どれもかいいしんの出来です。

今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。

日 時 令和7年11月15日（土） 10時～16時

場 所 第一中学校 体育館

会場図



体験できる時間（各回30分間）

① 10時～ ② 11時～ ③ 12時～ ④ 13時～

中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だけのペン立てをつくることができます。

第一小学校6年生のみなさんへ

四 今年の美術展では、昨年の美術展に来場した小学生の感想をもとに内容を工夫しています。中井さんは、そのことを【ちらし】（更新版②）の□の部分に書き加えることにしました。あなたならどのように書きますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 今年の美術展の【工夫】のA、Bから1つ選び（どちらを選んでもかまいません。）、それと結び付く小学生の【感想の一部】をアからウまでの中から1つ選び、それぞれ塗りつぶすこと。

条件2 条件1で選んだ、今年の美術展の【工夫】と小学生の【感想の一部】との関係が分かるように、接続する語句や指示する語句を使って書くこと。

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。
解答は必ず解答用紙に書きなさい。

【工夫】

- A 作品に込めた思いや作品をつくる過程について、中学生が、来場者の求めに応じて説明する。
- B 昨年はおみやげにしていたペン立てを、今年には体験コーナーを設けて、小学生につくってもらおう。中学生は、美術の時間に学んだことを生かし、手助けや助言をする。

【感想の一部】

- A どうやってあんな素晴らしい作品をつくったのか知りたくなりました。美術でどんなことを学べるのかが楽しみです。
- I いろいろな作品が展示されていて楽しかったです。思いのこもった作品が多いように感じました。
- ウ おみやげにペン立てをもらえてよかったです。手づくりだと聞いてびっくりしました。私もつくってみたいです。

【工夫】

【感想の一部】

㊦

㊧

㊦

㊧

㊦

← 選んだ【工夫】と【感想の一部】の記号を塗りつぶしなさい。

第一小学校6年生のみなさんへ

2

村田さんは、国語の時間に、学校の活動を地域に広げるアイデアについてスピーチをする学習に取り組んでいます。村田さんは、青木さんとあなたにスピーチのリハーサルを見てもらい、助言を求めています。次の【村田さんのスピーチ】と、〈スライド①〉から〈スライド⑤〉までを読んで、あとの問いに答えなさい。

【村田さんのスピーチ】

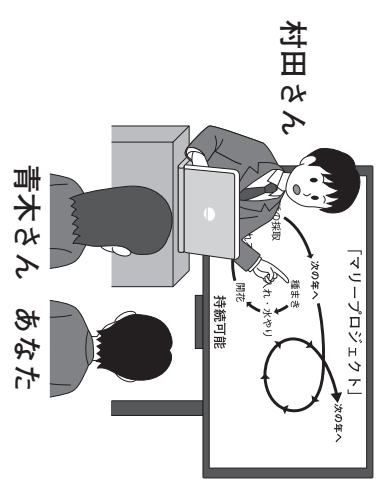
私は、「ワリープロジェクト」をもとにしたアイデアを考えました。
「ワリープロジェクト」は、皆さんも知っているとおり、環境委員会が参加者を募って行っている、ワリーゴール드를育てる活動です。参加したことがない人も、登下校のとき、きれいに咲いたワリーゴールドの花に、心が和んだこともあるのではないでしょうか。ワリーゴールドは、苗から育てることが多いのですが、この活動では、採取した種^{たね}から育てています。

ここで、〈スライド①〉を提示

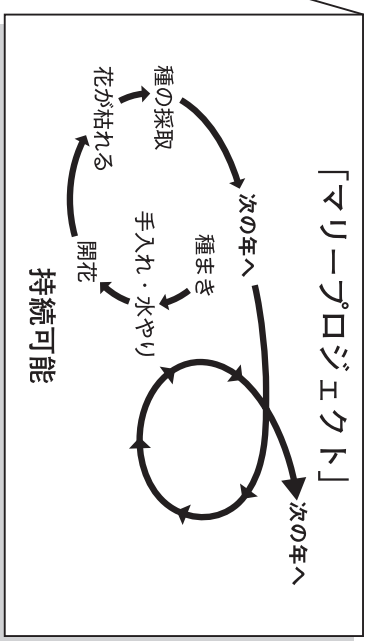
⑦ スライドに示したように、次の年、また次の年へとつながる、持続的な活動であることが、この活動の大きな特徴です。咲いた花を楽しむだけでなく、手入れをしながら成長を見守ることに魅力を感じ、私は、1年生のときからこの活動に参加しています。

ここで、〈スライド②〉を提示

これは、実際に採取したワリーゴールドの種です。次のシーズンに学校で育てる分を確保したあと、家でも育てたい参加者は種をもらって帰ります。私も、種をもらって、家族と一緒に育てています。ただ、



〈スライド①〉



〈スライド②〉



みんなが持ち帰ったとしても、採取した種は残ってしまいます。^⑦……あ、1年間で採取した種のうち、半分以上は残ってしまうのですよ。そこで、考えたのが、今行っている活動を発展させた「つなごうラリープロジェクト」です。

ここで、〈スライド③〉を提示

このプロジェクトの長所は、まず、残ってしまう種を活用できることです。そして、地域の方にも、花を育てる楽しみを味わってもらえます。しかも、ラリーゴールの種は毎年採取できるので、このプロジェクトも持続可能です。

ここで、〈スライド④〉を提示

このプロジェクトの内容は、残った種を地域の希望する方にも配るというものです。例えば、地域の方が来校する学校行事や、私たちが参加する地域の行事などで配りたいと思います。育ててくださる地域の方のために、残った種から発芽しやすいものを選び、育て方のポイントを書いたカードと一緒に渡します。

ここで、〈スライド⑤〉を提示

今行っている活動を工夫することで、私たちのラリーゴールと、花を育てる楽しみが地域にも広がります。学校と地域が、ラリーゴールでつながったら、すてきだと思いますか。
これで、私の発表を終わります。

〈スライド③〉

「つなごうラリープロジェクト」の長所

- 残った種を活用できる
- 地域の方にも楽しんでもらえる

こちらも持続可能

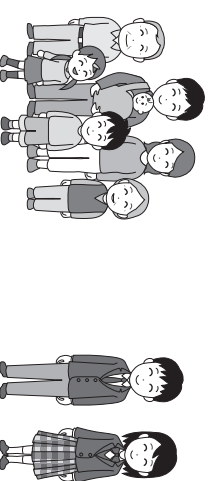
〈スライド④〉

「つなごうラリープロジェクト」の内容

- 残った種を地域の希望者に配布
- ・学校行事や地域の行事で
- ・育て方のポイントを書いたカードを添えて

〈スライド⑤〉

「つなごうラリープロジェクト」



一 村田さんは、【村田さんのスピーチ】の——線部㊸「スライドに示したように、次の年、また次の年へとつながる、持続的な活動であることが、この活動の大きな特徴です。」のように、スライドを使って話しています。このときの村田さんの話し方を説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までのの中から1つ選びなさい。

- 1 聞き手の印象に残るように、スライドで意見だけを要約して示しながら、意見とそれを支える根拠を話している。
- 2 聞き手によって経験が違うことを考慮して、スライドで補足の情報を示しながら、話の要点を絞って話している。
- 3 聞き手が興味をもつように、スライドで異なる視点からの情報を示しながら、自分の主張を繰り返し話し話している。
- 4 聞き手からの質問を想定して、スライドで質問に対する回答を示しながら、自分の立場と考えを話している。

二 【村田さんのスピーチ】の——線部㊹「……あ、1年間で採取した種のうち、半分以上は残ってしまうのですよ。」は、村田さんがその場で考えて発した言葉です。村田さんがこのように発言した理由を説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までのの中から1つ選びなさい。

- 1 聞き手の反応から、種をもらう参加者が何人くらいいるのか、疑問を感じていると判断したから。
- 2 聞き手の反応から、採取した種が残ってしまう理由を理解することができていないと判断したから。
- 3 聞き手の反応から、種をもらう参加者の目的を理解することができていないと判断したから。
- 4 聞き手の反応から、採取した種がどのくらい残るのか、疑問を感じていると判断したから。

三 リハーサルのと、青木さんは、『つなごうワリープロジェクトの長所』の話と『つなごうワリープロジェクトの内容』の順序を入れ替えた方がよいと思います。」という助言をしました。その意図を説明したものとて最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 村田さんが考えたプロジェクトの長所は、プロジェクトの内容を把握してから聞いた方がよく理解できると考えられるから。
- 2 村田さんが考えたプロジェクトの内容は、残った種の写真を見ながら聞いた方がよく理解できると考えられるから。
- 3 村田さんが考えたプロジェクトの長所は、異なる立場からの意見と関連付けて話した方が伝わりやすいと考えられるから。
- 4 村田さんが考えたプロジェクトの内容は、もともとなった活動の長所の直後に話した方が伝わりやすいと考えられるから。

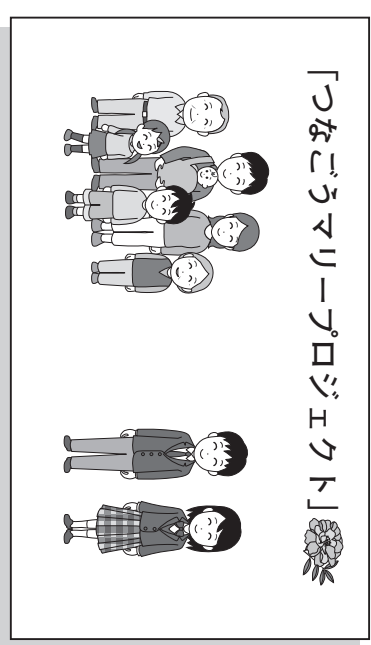
四 村田さんは、【村田さんのスピーチ】の [] の内容をより分かりやすく伝えるために、〈スライド⑤〉を工夫したいと考え、あなたに助言を求めています。あなたなら、どのような助言をしますか。あとの【工夫の仕方】のAからCまでのの中から1つ選び（どの【工夫の仕方】を選んでもかまいません。）、条件1と条件2にしたがって、村田さんへの助言を書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

【村田さんのスピーチ】の []

今行っている活動を工夫することで、私たちのワリーゴールドと、花を育てる楽しみが地域にも広がります。学校と地域が、ワリーゴールドでつながったら、すてきだと思いませんか。

〈スライド⑤〉



〔工夫の仕方〕

- A 〈スライド⑤〉に、言葉を加える。
B 〈スライド⑤〉のイラストを修正したり、イラストを付け加えたりする。
C AとBとを組み合わせる。

条件 1 選んだ〔工夫の仕方〕について、どのように工夫するかを、具体的に書くこと。

条件 2 条件 1 で工夫したことにより、どのように分かりやすくなるかについて、 の内容を具体的に取り上げて書くこと。

※ 下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

〔工夫の仕方〕

①	②	③
---	---	---

← 選んだ〔工夫の仕方〕の記号を塗りつぶしなさい。

3

次の文章は、島崎藤村しまざきとうぞんが書いた「二人の兄弟」という物語です。この物語は、「一 榎木の実えのき」、「二 釣の話つり」で構成されています。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

二人の兄弟

島崎藤村

一 榎木（注1）の実

皆さんは榎木の実を拾ったことがありますか。あの実の落ちている木の下へ行ったことがありますか。あの香かうしい木の実を集めたり食べたりして遊んだことがありますか。

そろそろあの榎木の実が落ちる時分でした。二人の兄弟はそれを拾うのを楽しみにして、まだあの実が青くて食べられない時分から、早く紅あかくなれ早く紅くなれと言って待っていました。

二人の兄弟の家には奉公（注2）して働いている正直（注2）な好いお爺さん（注2）がありました。このお爺さんは山へも木を伐きりに行くし畠はたけへも野菜をつくりに行って、何でもよく知っていました。

このお爺さんが兄弟の子供に申しました。

「まだ榎木の実は洪ふさくて食べられません。もう少しお待ちなさい」とそう申しました。

弟は気の短い子供で、榎木の実の紅くなるのが待っていられませんでした。お爺さんが止めるのも聞かずに、馳出かけだして行きました。この子供が木の実を拾いに行きますと、高い枝の上にいた一羽いちわの（注3） 榎鳥（注3）が大きな声を出しまして、

「早過ぎた。早過ぎた」と鳴きました。

気の短い弟は、枝に生なっているのを打ち落とすつもりで、石ころや棒を拾っては投げつけました。その度に、榎木の実が葉と一緒に

になって、パラパラパラ落ちて来ましたが、どれもこれも、まだ青くて食べられないのばかりでした。

そのうちに今度は兄の子供が出掛けて行きました。兄は弟と違って気長な子供でしたから「大丈夫、榎木の実はまだ紅くなっている」と安心して、ゆっくり構えて出掛けて行きました。兄の子供が木の実を拾いに行きますと、高い枝の上にいた榎鳥がまた大きな声を出しまして、

「遅過ぎた。遅過ぎた」と鳴きました。

気長な兄は、しきりと木の下を探し廻りましたが、紅い榎木の実の一つも見つかりませんでした。この子供がゆっくり出掛けて行くうちに、木の下に落ちていたのを皆な他の子供に拾われてしまいました。

二人の兄弟がこの話をお爺さんにしたら、お爺さんがそう申しました。

「一人はあんまり早過ぎたし、一人はあんまり遅過ぎました。丁度好い時を知らなければ、好い榎木の実は拾われません。私がその丁度好い時を教えてあげます」と申しました。

ある朝、お爺さんが二人の子供に、「さあ、早く拾いにお出なさい、丁度好い時が来ました」と教えました。その朝は風が吹いて、榎木の枝が揺れるような日でした。二人の兄弟が急いで木の下へ行きますと、榎鳥が高い枝の上からそれを見ていまして、

「丁度好い。丁度好い」と鳴きました。

榎木の下には、紅い小さな球のような実が、そこにも、ここにも、一ぱい落ちこぼれていました。二人の兄弟は木の周囲を廻って、拾っても、拾っても、拾いきれないほど、それを集めて楽しみました。

榎鳥は首を傾げて、このありさまを見ていましたが、

「なんとこの榎木の下には好い実が落ちていましょう。沢山お拾いなさい。序に、私も一つ御褒美を出しますから、それも拾って行って下さい」と言いながら青い斑の(注4)入った小さな羽を高い枝の上から落としてよこしました。

二人の兄弟は榎木の実ばかりでなく、榎鳥の美しい羽を拾い、おまけにその大きな榎木の下で、「丁度好い時」までも覚えて帰って来しました。

二 釣つりの話

ある日、お爺さんは、二人の兄弟に釣の道具を造つてくれると言いました。

いかにお爺さんでも釣の道具は、むずかしkarou、と二人の子供がそう思つて見ていました。この兄弟の家の周囲には釣竿一本売の店がありませんでしたから。

お爺さんは何処どこからか釣針を探して来ました。それから細い竹を切つて来まして、それで二本の釣竿を造りました。

「針と竿ができました。今度は糸の番です」とお爺さんは言つて、栗くりの木に住む栗虫から糸を取りました。丁度お蚕はちまさまのように、その栗虫からも白い糸が取れるのです。お爺さんは栗虫から取れた糸を酢に浸ひけまして、それを長く引き延のびしました。その糸が日に乾いて堅くなる頃には、兄弟の子供の力で引いても切れないほど丈夫で立派なものができあがりました。

「さあ、釣の道具が揃そろいました」と言つて兄弟にくれました。

二人の子供はお爺さんが造つた釣竿を手に提げまして、大喜びで小川の方へ出掛けて行きました。小川の岸には胡桃くるみの木が生えてゐる場所がありました。兄弟は鰍注6）かしこのいそうな石の間を見立てまして、胡桃の木のかげに腰を掛けて釣りました。

半日ばかり、この二人の子供が小川の岸で遊んで家の方へ帰つて行きますと、丁度お爺さんも木を一ぱい背負しよつて山の方から帰つて来たところでした。

「釣れましたか」とお爺さんが聞きますと、兄弟の子供はがっかりしたように首を振りました。賢いお魚は一匹も二人の釣針に掛かりませんでした。

その時、兄弟の子供はお爺さんに釣の話をしました。兄はゆつくり構えて釣つていたものですから釣針にさした餌は皆な鰍に食べられてしまいました。

弟はまたお魚の釣れるのが待遠まちどおしくて、ほんとに釣れるまで待つていられませんでした。つい水の中を掻廻かきまわすと、鰍は皆な驚いて石の下へ隠れてしまいました。

お爺さんは子供の釣の話を聞いて、正直な人の好きそうな声で笑いました。そして二人の兄弟にこう申しました。「二人はあんまり気が長過ぎたし、また、一人はあんまり気が短過ぎました。釣の道具ばかりでお魚は釣れません」

(島崎藤村「二人の兄弟」による。)

(注1) 榎木Ⅱアサ科の落葉樹。高い木に育つ。

(注2) 奉公Ⅱよその家に雇われて住み込みで働くこと。

(注3) 檀鳥Ⅱカラス科の鳥である「カケス」の別称。

(注4) 斑Ⅱまだら。ぶち。

(注5) お蚕さまⅡカイコガ科のガの幼虫の丁寧な言い方。まゆから絹糸をとる。

(注6) 鰯Ⅱカジカ科の魚。

一 「一 榎木の実」の~~~~線部が、物語の始めに示されていることによる効果を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 語り手が読者に、榎木の実に関する経験を問うことによって、二人の兄弟の相互関係に関心をもたせる効果。
- 2 語り手が読者に、榎木の実に関する経験を問うことによって、榎木の実にまつわる物語に関心をもたせる効果。
- 3 語り手が読者に、兄弟や家族との関係を問うことによって、二人の兄弟の相互関係に関心をもたせる効果。
- 4 語り手が読者に、兄弟や家族との関係を問うことによって、榎木の実にまつわる物語に関心をもたせる効果。

二 ― 線部①「二人の兄弟」は、この物語の中でどのような性格の人物として描かれていますか。「一 榎木の実」と「二 釣の話」を通して分かる性格を、それぞれ書きなさい。

三 ― 線部②「しきりと」の意味として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 寂しげに
- 2 改めて
- 3 何度も
- 4 注意深く

四

で囲まれた部分には、兄弟が目的を達成できなかった場面のあとに続く話が書かれています。あとに続く話は、「一 榎木の実」にはありますが、「二 釣の話」にはありません。このような展開になっていることは、「二人の兄弟」という物語においてどのような効果があると考えますか。あなたの考えとその理由を具体的に書きなさい。理由を書く際には、物語の内容を取り上げて書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

--	--	--	--	--	--

三上さんは、職場体験活動でお世話になった生花店の店長の大野さんに、お礼の手紙を書いています。次は、三上さんが推敲^{すいこう}している途中の【手紙の下書きの一部】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【手紙の下書きの一部】

先日

ご協力くださり、

さて、昨日は、私たちの職場体験活動に協力してくれてありがとうございました。大野さんをはじめ、お店の皆さんに親切に指導してもらい、多くの学びを得ることができました。

この体験活動をするまで、私は、生花店で働くことについて、華やかなイメージしかもっていなかったのですが、皆さんに教わりながら、一つ一つ仕入れた商品を下処理したり、葉や花びらが落ちていないように気を付けたり、花を長持ちさせる方法や花言葉を勉強したりすることを通して、華やかさの裏には、それを支える作業や専門的な知識があることを知りました。

一 三上さんは、【手紙の下書きの一部】に、一箇所、漢字の誤りがあることに気付きました。三上さんの修正の仕方を参考にして、誤って書かれている漢字を線で消し、消した漢字の右横に、正しい漢字を書きなさい。

※ 次のページの【手紙の下書きの一部】の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

二 三上さんは、さらに推敲を重ねようとしています。あなたなら、【手紙の下書きの一部】の、どの部分をどのように修正しますか。三上さんの修正の仕方を参考にして、次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。

条件1 修正した方がよい部分は複数ありますが、言葉の使い方や叙述の仕方などについて、あなたが特に修正した方がよいと考える部分を一つ選ぶこと。なお、【手紙の下書きの一部】の内容は、変わらないようにすること。

条件2 修正する際は、削除したり書き直したりしたい部分を線で消し、書き直す場合は、消した言葉の右横に、どのように直すのかを書くこと。

条件3 修正した方がよいと考えた理由を具体的に書くこと。なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

※ 次のページの【手紙の下書きの一部】と【理由】の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

【手紙の下書きの一部】

先日

ご協力くださり、

さて、昨日は、私たちの職場体験活動に協力してくれてありがとうございます。大野さんをはじめ、お店の皆さんに親切に指導してもらい、多くの学びを得ることができました。

この体験活動をするまで、私は、生花店で働くことについて、華やかなイメージしかもっていなかったのですが、皆さんに教わりながら、一つ一つ仕入れた商品を下処理したり、葉や花びらが落ちていないように気を付けたり、花を長持ちさせる方法や花言葉を勉強したりするを通して、華やかさの裏には、それを支える作業や専門的な知識があることを知りました。

【理由】

これで、国語の調査問題は終わりです。
最後に質問があります。解答時間終了後、
先生の指示で回答してください。

【質問】

※解答時間終了後、先生の指示で回答してください。

それぞれの質問について、当てはまるものやあなたの考えに最も近いものを1つ選んで、解答用紙の ☐ の中のマーク欄（番号）を黒く塗りつぶしてください。

（1）今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。

- 1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した
- 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた
- 3 書く問題は全く解答しなかった

（2）解答時間は十分でしたか。（50分）

- 1 時間が余つた
- 2 ちょうどよかった
- 3 やや足りなかった
- 4 全く足りなかった